

新たな京都の道づくり計画（仮称）骨子案

0 基本コンセプト

- ・新総合計画でめざす京都府の社会像について、道路が担うべきこと（中長期的な道路整備の方向性）を示す
- ・計画期間は、新総合計画の計画期間を踏まえ設定

1 背景・計画策定の趣旨

<記述内容>

- 新たな道づくり計画を策定する背景・趣旨
- 10年間の成果
- 現状分析・課題

- ・京都府の道路整備の方向を示す「京の道づくり重点プラン」を平成20年に策定し、目標年次の10年が経過
- ・京都縦貫自動車道の全線開通、新名神高速道路の整備促進等
- ・高速道路のミッシングリンク
- ・自然災害の多発・激甚化、道路施設の老朽化の進展等
- ・道路政策に反映すべき新技術やサービスの概念の登場
（ビッグデータ・AI・IoT等の活用、自動運転、スマートシティの発展等）

2 将来構想

<記述内容>

- 新総合計画が示す20年後に実現したい京都府の将来像

新総合計画（案）

- 将来構想（20年後の社会像）
 - （1）人とコミュニティを大切にする共生の京都府
 - （2）文化の力で新たな価値を創造する京都府
 - （3）豊かな産業を守り創造する京都府
 - （4）環境にやさしく安心・安全な京都府
- 地域振興計画も合わせて策定中
各地域の課題や特色に応じた対応方策を広域振興局エリア単位で提示

3 将来構想を実現するための道路政策

<記述内容>

- 将来構想を実現するための道路政策を記述
- 個別施策ごとに以下の内容を記述
 - 道路施策
 - ◆ 道路施策を具現化する計画や方策
 - ✓ 評価指標

（1）人とコミュニティを大切にする共生の京都府

～日常生活を支え、すべての人にやさしい道～

- 安全で快適な歩行者・自転車通行空間の確保
- 歩きたくなる健康まちづくり
- スマートシティ（タウン・ビレッジ）の普及
- 中山間地域における人流・物流の確保
- サイクルツーリズムへの対応
- スポーツ施設へのアクセスの確保

（2）文化の力で新たな価値を創造する京都府

～地域の豊かな文化・景観資源を活かし、魅力を高める道～

- 魅力的な街並み形成に資する道路空間の整備
- 地域の歴史・伝統的行祭事への配慮

（3）豊かな産業を守り創造する京都府

～人や物の効率的な移動を支え、産業の発展を牽引する道～

- 物流の効率化に資する道路の整備
- 産業の活性化に資する道路の整備
- 交通結節点の利便性向上
- 京都市から「もうひとつの京都」エリアへ誘導する道路の機能強化

（4）環境にやさしく安心・安全な京都府

～持続可能な社会をつくり、災害に強い安心・安全な道～

- 災害脆弱性の解消
- 交通事故減少に向けた取組の推進
- 地域の自然環境の保全
- 交通渋滞の解消
- 戦略的なアセットマネジメント
- スマートシティ（タウン・ビレッジ）実現の推進

4 広域道路ネットワーク

<記述内容>

- 道路政策を具体化する広域道路ネットワークを提示

5 評価について

<記述内容>

- 進捗管理、評価期間、中間評価、計画見直しについて記述